2019 年度 第 2 回 常任理事会議事録

日　時：2019 年 12 月 5 日（木）10:30～16:00
場　所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2 号館 401

Ⅰ．　開会　司会進行：大代専務

Ⅱ．　会長挨拶：年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年も去年に引き続き災害の多い年でした。16～17日に行います長野県の被災支援が年内最後の大きな事業かと思います。久しぶりに議案の少ない常任理事会となりましたが、せっかくの機会ですので有意義な会にしたいと思います。

Ⅲ．　議事

1. 議長選出：福川修介副会長　　議事録作成人：事務局 星野みゆき
2. 定足数の確認：常任理事出席 31 名（37 中）有効委任状 35 名　監事出席 2 名（3 名中）顧問 1 名
事務局 3 名 合計 39 名
3. 議事録署名人の指名：正副会長より森田浩介氏、及び監事より望月威男氏を指名
4. 資料及び議題の確認：前回議事録（メール配信済み）第 2 回理事会、第 5 回正副会長会議
新議題の採択：なし
5. チェックイン：竹ノ内氏より進行の説明。グループトーク（この業界に携わって良かったこと）

【1. 審議事項】

（1）入退会について　入会者３名・退会者３名　　大代　資料 入 P1 退 P5

大代氏より資料を元に説明あり

入会：3 名

射場：大阪で開催されたお墓ディレクター受検対策セミナーの際に、西部霊苑（長崎県）の代表の方とお会いしました。とても紳士的な方と印象にあります。

→全会一致可決

退会：3 名

意見なし→自動承認

（2）【広報】秋分の日はお墓参りの日　決算報告について　　吉野/森田　資料 P8

森田：例年事業です。今回は初めての取り組みとして SNS 拡散を狙いましたが、残念ながら足並みそろわず完敗でした。ただ、お墓参りポスターは定着してきており良い事業になっていると思います。

上野：このプロジェクトも 5 年進めていて、ポスターの評判は良いがマスコミの反応が薄い。対マスコミの策を今後委員会で揉んでいく必要がある。みなさんも SNS の機能を使って「#お墓参りの日」を広める協力をお願いします。

→全会一致で可決

【2. 報告・討議・周知・依頼事項】

（1）【助成金】東京都支部「実態調査プロジェクト」について　　天野　資料 P10

天野：散骨の実態調査を行います。予算 10 万円。

上野：調査項目について提案したい。散骨する方はお墓も建てて、すべてのお骨でなく一部を散骨する方が多いらしいので、その辺りも調査して欲しい。石屋のチャンスにつながる調査になるかもしれない。

望月：静岡県の石材組合でも問題視していて、静岡県議会にて散骨の実態について質問がありました。熱海市・伊東市には条例がある（海岸から〇〇km以上離れる）。静岡市には条例がない。静岡鉄道の葬祭部が清水の港から駿河湾に船を出し散骨することを取り仕切っている。桜エビとシラスの漁を行う漁業組合が静岡鉄道に対して質問状を出した（損害賠償）。今後、全国の沿岸漁業を行っている組合と石材業者が相談してやられたら良いと思う・

井口：東京都政治連盟でも都議会に質問状を出すようです。火葬許可証の行方が不明。羽田沖での散骨がメインとなっているので、東京オリンピックへの影響についても問いてみる予定。

小野：10/18 岡山県政治連盟にて瀬戸内海漁業組合に提言。現状を把握しての報告義務、環境への影響等を発信、ガイドライン作成を提案しました。

柴田：岡山県の政治連盟に出席していました。漁業組合の方はまったく知らなかったようでした。東京都の場合、奥多摩など水源に捲かれた際の風評被害が問題となっている。

福川：このように情報交換の場にしていただきたい。岡山県・広島県では尾道、牛窓という観光地でも散骨されている。観光業界とも組んで提言していくこともひとつ。

(2)【地区】北海道地区全体会議　2/25@札幌市　　三上　資料 P13

三上：翌日 26 日には岩手でストーンアシストも行われますので合わせてご参加ください。

佐野：石材業に対しての終活。わたしは独自に取り組んでいる活動をお話します。

瀬川：7 月の墓石部会に参加してから現在、川端氏のセミナーに参加しています。非常に勉強になりますので、みなさまご参加ください。

(3)【災害対策本部】台風 19 号被害　長野市妙笑寺支援について　　射場/川本　資料 P15・投影あり

射場：長野県長野市妙笑寺より要請を受けて 12/16～支援に伺います。

川本：先日、現地調査に行って参りました（倒壊墓地の写真投影）。曹洞宗の青年部の方より長野県副支部長へ依頼が入り、長野県に隣接する 5 支部の会員へボランティア要請をしました（現在 10 名の申し出）。長野県石材組合と共同での作業となります。

(4)【建築】第 4 回建築環境部会@広島　事業計画について　　棚瀬　資料 P17

棚瀬：年明け 1 月 24 日に先日の中四国地区全体会議が開催された会場にて部会会議を行います。望月監事に建築・石産協・徳川家康などについて講演いただきます。中四国のみなさまにお越しいただきたい。

友常：今年度は講師を招いて部会開催をし、建築以外の方の参加も促しています。協力お願いします。

(5)【墓石】第 2 回墓石部会（墓石の施工技術）10/2 @静岡　決算報告について　　佐野　資料 P19

佐野：イシフクさんのご協力をいただき、施工協会・井比会長をお迎えして開催しました。井比さんから施工についての講習会、㈱藤栄の方にアンカーボルトの講習をお話しいただき大変好評でした。

白木：墓石部会は毎回参加させていただいています。当社でも施工が増えているのでとても勉強になりました。卸業の方も是非参加してください。

望月：参加を申し込まれたみなさまは、毎月 200 件施工されている方の話に興味があったのでしょう。井比さんがセミナーでお話しされていましたが、ＴＶ放映を見た一般の方から一番多かった問い合わせは、「ヘルメットを被った石屋さんに頼みたい」というものだったそうです。ほとんどの石屋さんがヘルメ

ットをかぶらず作業している中、みなさんがどう思ったのでしょう。お客さまは実際作業しているところを見ている。ヘルメット着用は必須。

(6) 墓石】二団体協働「秋分の日はお墓参り」ポスター配布　決算報告　　佐野　資料 P23

佐野：当初、3 団体で進める事業の予定でしたが、全石協さんが抜けたので、急遽全優石さんと 2 団体で進めました。輸入卸商部会・関連部会のみなさまに協力いただき 4,000 枚強のポスターを配布出来ました。

福川：訂正です。P23 決算総額→72,918 円

大塚：関連部会に協力要請がありましたが、梱包費・発送費の負担が大きい。今後の課題と思います。

山口：発送には手間や予算がかかる。展示会や産業展などで配布して能動的に持ち帰っていただくことも一案。

(7)【墓石】第 3 回墓石部会（墓石店の未来へのヒント）2/6@大阪事業計画　　佐野　資料 P27

佐野：次回部会は成果普及講習会の大阪開催に合わせて行います。委員の一人である井上氏に講演を依頼、消費者からの目線でお話しいただきます。パネルディスカッションを考えています。是非多くのご参加をお願いします。

(8)【墓石】消費者アンケート調査　進捗について　　佐野/柴田　資料 P29

柴田：アンケート調査を受けてレポートをまとめている段階です。年明けに報告書が完成予定です。成果普及講習会は是非ご参加くださいますようお願いいたします。東京会場は理事会前日 2/12 に開催ですので前乗りしてご参加いただければと思います。

福川：みなさまスケジュールに落としていただければ幸いです。ご協力お願いいたします。

川本：今回、横須賀市役所の方に委員として参加いただいていますが、行政として終活登録を実践されている担当の方で、登録者方のアンケート結果によると、1 位「医療」、2 位「亡くなった際の連絡先」、そして 3 位に「お墓の場所」が入っています。お墓そのものでなく心配事を解消してあげる切り口も良いのではないかと仰っていました。関東で 20 の介護施設を経営されている方も委員参加しておられ、入居者の死生観や供養心などを尋ねています。色々な切り口の中から最終的にお墓が建つということから、亡くなる時の不安などを介護施設や行政から切っていこうということが今回の大きなテーマですので、是非ご参加いただきたい。

長江：以前はお子さんがいる方の不安パーセンテージは低かったのに対し、今回のアンケート結果では、お子さんがいる、いない問わず不安のパーセンテージが同じという結果に驚きました。自分で自分の最後をなんとかしないといけないという傾向が高まっているが、相談窓口が極めて少ない。課題が見えてくると思います。

(9)【輸入卸】日中墓石交流会 11/11@中国　決算報告について　　吉川　資料 P30

吉川：政府から今後 10 年の採掘許可を得た丁場の見学を取り入れました。663 に近い色目の石も採れます。日中交流会の内容については資料（Q&A）の通りです。

山口：計 50 名程が集まった会議となり注目されていると感じました。現場の生の声が聴けるので機会があれば参加いただきたい。

望月：日本の卸や建築の方にもっと来て欲しいと要望もあります。石の交流会として参加されては。

鶴田：石材業界がバブルなのではと思うほど豪華な展示会でした。3D を超えて 5D 利用。建築を始め来年は多くのみなさまに参加いただき石材需要に繋げていただきたい。

（10）【関連】ストーンアシスト 2020 in IWATE　　大塚　別紙

大塚：リーフレットのラフが出来上がってきました。こちらは石産協通信に同封いたします。集客の懸念がされていましたが、地区長・支部長・副会長のご協力もあり盛り上がってまいりました。見どころ満載の盛岡。お昼時間には念願でしたわんこそば大会を開催します。奮ってご参加ください。
長野県被災写真を見て倒壊した墓石にはほとんど接着剤が使用されていなかった。その辺もセミナー等でお伝え出来たらと考えています。

山口：わんこそば大会は賞金も出ますので白木さん頑張ってください。動員のご協力もよろしくお願いいたします。

米本：東北の方の参加が少ないので、合わせて東北地区支部長連絡会議も開催します。

瀬川：岩手開催ありがとうございます。合わせて前日に岩石協を開催されますので、相乗効果で動員につなげたい。まだドカ雪が降る時期ですので気をつけてお越しください。

（11）【広報】母の日参り　決算報告について　　吉野/森田　資料 P42

森田：今回はステッカーを作成しました。若干読みにくいとの意見もいただきましたので、修正して来年以降につなげたい。

上野：今回は草刈正雄さんをお呼びしたが、タレントを使ってのプレス発表は非常に効果がある。

（12）【おＤ】１級取得者研修会＠東京　事業計画について　　小野　資料 P44

小野：前日は理事会がございますので 1 級の理事はぜひご出席ください。横のつながりを深めることも重要。葬祭系ユーチューバーの佐藤氏に講演をお願いしています。「お墓に水をかけてはいけない」記事に正面から反論した方。1 対参加者全員のディスカッションを企画しています。
検定試験の申し込みがまだ 110 名です。地区長のみなさまから支部長を通じて 100 名の受検申込加算をよろしくお願いいたします。

中村：有意義なセミナーになっておりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

（13）【公正】公正競争規約推進委員会より　　白木　資料 P48

白木：協会ガイドライン作成事業に移行していく。すでにいただいた協賛金は出資者にお返しいたします。発起人会は解散することに決まりました。

射場：全石協は組合員ファースト。我々とスタンスが違う。

大石：3 年以上前から協議を重ねてきたが、総意を得られなかったという結果と思う。石屋としてのモラル、お客さまへのサービスを整える点では必要なものと思います。

能島：石産協の会員内のガイドラインを作るのもひとつと思う。

笠井：墓石事業を始めた 25 年前からの見積書を洗い直している。支部や社内など身近なところからきちんとしていければと思っている。

井口：意見をまとめて協会内のガイドライン、最低のルールづくりから始めていきたい。

（14）【組織】2020 年度組織について　　森田　資料 P53

森田：あくまでも（案）の段階です。なるべくコンパクトな組織づくりを意識して試行錯誤しています。

みなさまに討議していただきたい項目があります。
①地区割について　道州制を参考に
②理事の人数　以前より支部長を理事にするか協議されてきましたが、評議員なども検討材料
③地区大会の在り方　年間開催回数を定め、集中しないように、地区の負担を減らす方向で
④部会に関して　部会担当副会長を減らす方向を検討している
⑤委員会に関して　意義のある内容の委員会であれば存続　／　委員会メンバーについては固定化している
→各地区から数名を委員会に出向（交通費は本部負担）
≪テーブル討議≫20 分間
グループＡ
討議①・道州制は良い（道州制 7：現状 2）
・石川県は岡崎に近い・会員が少ない（11 人）
・関西では福井（北陸信越）は馴染みが少ない、交通費もかかる
・常任理事が減るのは経費が減るので良い
討議②・支部長が理事会に出ないと活動が止まる（理事 3：理事でない 6）
・支部長が出ない人もいるので地区長副会長が伝える
・支部長が理事でいる必要はないが情報は伝わらないので理事会に出る
・支部長会議で話すだけで良いのでは
・支部長は別の連絡会議を設ける　例）地区大会とかで伝える
・理事が多いと思うが地区の中から理事を決める（決議権）
・全国というからは全都道府県から集まる、経費は各支部で負担
・理事→支部長→会員の流れがあると情報が伝わる
討議③・地区大会は重ならないのが良い
・各地区長で話し合って決める　例）3～4 月の年度初め
・時期的には 11 月、雪の問題など
・地区大会はやるのが良い、やるべき→目的と時期は調整
・レベルアップ→研修だけでなく（内部）外部の方も参加できる
・地区大会の目的が不明確、本部で決める
・北海道、東北は閑散期があるのでやりやすい

グループＢ
討議④　【部会担当副会長を１人に！】
・担当を１人にするとすべての部会に参加不可
・元副会長の太田さんは１人で担当していた
・ネット会議（月一回）を活用すれば可能か
・まずやるべきことを決めそこから役割を落とし込む
・事業を行うにあたり人数（スタッフ）集めも大変→事業を絞り込む
【担当副会長１人＋部会長１人＋副部会長２人】
・会長の“思い”でやってみる　⇦中央集権制から全国に
・石産協の特徴はボトムから意見が上がってくること
・やる事業を絞って参加人数を増やし様々な角度（各部会）から協力する
【副会長は２人で】

・エリアごとのフォローは地区長で
・部会分けの原点は各部会メンバーが儲かるようにする為

グループＣ
討議①・北陸地区　福井→近畿　富山石川→中部
・北海道地区→東北と合同
・四国と中国→一緒にしてもＯＫ？
・北関東を検討
・現状維持を！
討議②・支部長→評議員にＯＫ
・理事会→評議委員会を定期開催
・支部長を理事から外す
・現状でスタートすべき
・地区を活性化
討議③・今の体制を修正すべき
・年次大会を地区担当
・内容を再検討
・年次大会（年度初め）　中間報告→東日本地区・西日本地区
・やる時期を検討
【副会長の役割】
・やっている事業が重複しているので精査
・女性ＮＷ→墓石部会女性部にしては（出席出来る理事）
・担当を専門性高く
・副会長は会長の代理→部会長、委員長の負担大　正副会議での決定責任大
・墓石部会にＣＳ委員会、お墓Ｄ委員会を入れるのはＯＫ
・副会長は減らすべき
・各委員長、部会長の負担を軽減し組織化
・東西で分けていく
・委員会も合併しても良いのでは
・各地区からの出向→交通費をどうするか、各地区からも費用負担
・役割と事業内容をまとめニンプの確保
・目的は予算をどのように使っていくか
・出向→地区推薦と個人メンバーとの差をどうするか
・人事権、ボランティアに頼らない組織に・・・運営の自立

（15）【予算】2020 年度予算について≪2020 年 1 月 6 日締切厳守≫　　大代/森田/射場　資料 P54
大代：1/6 の締切を過ぎたものは一切受け付けません。委員会・部会の事業予算に懇親会支出入を入れない。
各担当副会長は予算編成委員会にて事業内容を説明発表が必須となります。事前に十分な協議を！
山口：各事業は会長所信に沿ったものを上程するべきか、アドバイスを。
森田：出来る限り所信に沿ったものを。内容は協議していきましょう。

（16）年会費未納について　　大代　資料 P60

大代：静岡県・中川石材店は 11/29 入金済みですので削除、計 15 社の未納。3 月末までに入金のない場合は自動退会とさせていただきます。

中川：まだまだ自己満足的な会。公正取引の件は残念。

玉田：いちばん良かったと感じたのは組織の改革。九州沖縄地区全体会議は盛会のうちに閉会しました。ご参加・ご協力ありがとうございました。

谷合：森田次年度会長候補の方針を聞けて、皆さんの活発な意見が出て良かった。

戸部：年末の多忙な時期、時間を割いて参加いただいているみなさまに頭が下がる思いです。次年度以降も発展することを期待し、確信しております。

＜監事講評＞

望月：日本石材産業協会は日本墓石産業協会ではない。森田会長予定者には是非世界を回ってほしい。先ずは今ある法律を守ってほしい、そこがスタート。ヘルメットットをかぶる、等は基本。

6. チェックアウト：今日一日参加しての感想（各グループ内）

閉会

2019 年 12 月 5 日

議事録署名人　：　森田　浩介　　㊞

議事録署名人　：　望月　威男　　㊞

議　　長　：　福川　修介

議事録作成人　：　星野みゆき